

社会科学学習指導案

平成30年〇月〇日（〇曜日） 第〇校時 〇年〇組教室 指導者 田村 嘉崇

1 単元名 現代の民主政治と社会 「現代の民主政治」

2 考察

(1) 教材観

本単元は、新中学校学習指導要領解説社会編（平成29年7月）公民的分野の内容「C 私たちと政治」、
「(2) 民主政治と政治参加」に基づき、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することをねらいとして単元構成したものである。

現代の民主政治は国民の政治参加によって支えられている。2015年に選挙年齢が18歳に引き下げられ、2016年6月に行われた参議院選挙で初めて実施された。群馬県内では全体の投票率が50.51%であったが、10代の投票率はそれをさらに下回る42.41%という結果となった。このことから県民だけでなく、若者に至るまで政治に対する関心が低くなっていることが分かった。主権者教育の必要性が主張されている現在、まだ有権者ではないが中学生も市民社会を生きる一人の市民である。中学生段階から民主政治に関する問題について思考・判断・表現することは大切であると言える。

そこで、具体的な日常生活との関わりから民主主義や民主政治について考えさせることによって、中学校社会科の目標である「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」ことにもつなげていきたい。

そのために、本単元では生徒自らが課題を設定し、主体的に追究できるような学習形態や問題解決的な学習を取り入れることで、社会的事象の意義について理解し、主権者として政治参加の在り方について選択・判断できるようにしたいと考える。

(2) 指導方針

- 社会的事象に対する興味・関心を高め、課題意識をもつことができるように、生徒にとって疑問や驚きをもてる資料を提示する。
- 資料から事象を読み解きやすいように、様々な写真や統計資料、年表などを活用する。
- 生徒の視覚に訴えるために、ICT機器を使って資料や写真などの提示を行う。
- 個人で考えを分類・整理することができるように、課題の解決に向けて情報を収集するための思考ツールなどを活用する。
- 生徒の自己解決力を高めるために、教科書や資料集、図・表などを読み取るための視点を与える。
- 多様な視点から社会的事象を捉えることができるように、ペアやグループでの話し合い活動を取り入れる。
- 社会的事象を自分との関わりとして捉えることができるように、まとめる過程の中に、新たな課題を設定する場面をつくる。
- 調べ学習を取り入れる際、見通しをもって学習に取り組むことができるように、「背景・原因・様子・結果」などの視点を与える。
- 他者の意見に触れながら自身の考えを再構成することができるように、資料や習得した知識を根拠にした討論的活動を行う。
- 学習内容の定着を図るために、学習した社会的事象を繰り返し活用していく。

3 研究との関わり

平成30年度群馬県学校教育の指針解説では、「社会的事象の概念に関する汎用性や応用性のある知識を獲得するために、用語や語句を含め具体的な事実に関する知識を習得し、それらを比較・関連付けるなどし考察、構想（選択・判断）する力を高めることが大切である」と示されている。

そこで本単元では、まず「つかむ過程」において、生徒にとって疑問や驚きをもてる資料を提示し、そこから単元の課題を設定する。次に、「追究する過程」において、各単位時間に課題の解決に必要な情報を収集し、読み取り、考察していく活動を行う。その際、思考ツールなどを用いて個人の考えを分類・整理したり、ペアやグループで話し合いを行ったりすることで、生徒の思考を深めてさせていく。最後に「まとめる過程」において、生徒一人一人が単元の課題に対する結論を導き出し、まとめ、振り返りへとつなげられるようにしていく。

しかし、新中学校学習指導要領解説社会編では、『今後の学習活動においては「何を理解しているか・何ができるか」にとどまらず「理解していること・できることをどう使うか」を意識した指導が求められる』とあるように、これからの日本を担う国民の一人として、何ができるか考える必要がある。そこで、導き出された結論を自分との関わりとしてより捉えることができるようにするために、単元の「まとめる過程」を三つの場面（「単元の学習を振り返る場面」「新たな課題を追究する場面」「新たな課題を解決する場面」）に分ける。まず「単元の学習を振り返る場面」において、再提示された資料から、学習してきた事柄を基に、まだ解決できていない課題があることに気づき、課題を自分との関わりとして捉え直すことで、新たな課題を設定する。次に、「新たな課題を追究する場面」において、資料や習得してきた知識を比較・関連付けたり、多面的・多角的に考えたりすることで新たな課題に対する考えをもっていく。最後に、「新たな課題を解決する場面」において、資料や習得してきた知識を根拠にした討論的活動を行うことで、他者の意見に触れ、自身の考えを再構成し、単元全体の振り返りへとつなげ、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断をしていく。

4 単元の目標

選挙を始めとする国民の積極的な政治参加が民主政治を支えていることに気付くとともに、主権者として政治の在り方について多面的・多角的に考察したり、討論的活動をしたりすることを通して、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断することができる。

5 指導計画（全9時間予定）

評価 規 準	関心・意欲・態度	将来国政に関わっていく一市民として、身近な生活と政治との関係に関心をもち、これから自分はどうのように政治と関わっていけばよいか意欲的に追究している。		
	思考・判断・表現	選挙を始めとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づき、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合い活動などを通して多面的・多角的に考察し、表現している。		
	技能	最近の選挙に関する話題や各政党の政権公約などについて、新聞やインターネットなどを活用して資料を収集・選択し、複数の資料を比較・関連付けたり、課題に即して読み取ったり、適切にまとめたりしている。		
	知識・理解	多数決の原理とその運用の在り方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身に付けている。		
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		活用させたい知識等	思考力・表現力等	

第1時	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校第6学年で学習した政治的内容を想起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提示された資料から「なぜ」「どうして」といった課題意識をもち、資料を多面的・多角的に考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提示された社会的事象に関する資料を読み取ることで、単元の課題を設定する。
第2時 ～ 第6時	追究する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級活動や生徒会活動を振り返り、自分たちの日常生活と比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主主義の考え方が重要であることに気付くとともに、多数決が多くの場合において用いられている理由について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動などの身近な事例を取り上げながら、民主主義とは何かを考える。 ・ 多数決の長所と短所について、経験を基にしながら考える。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料からそれぞれの選挙方法の長所と短所を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加における関連について多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の選挙制度について調べ、そのあらましを理解する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料から選挙における課題を読み取る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の選挙における課題と政治参加の方法について考える。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 政党には様々な立場があり、それぞれ国民から支持されていることを理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 政党は民主政治においてどのような役割を果たしているのかを理解する。
第7時 ～ 第9時	まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の学びの中で習得してきた知識を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再提示された資料から、「自分にも何かできることはないか」といった課題意識をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの学びを振り返り、新たに自分との関わりとして捉えることのできる新たな課題を設定する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の学びの中で習得してきた知識を活用する。 ・ 資料から国民の政治参加における課題を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習得した知識や資料を比較・関連付けたら、多面的・多角的に考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな課題追究のために、学びの中で習得してきた知識や資料などを比較・関連付けたら、多面的・多角的に考えたりしながら課題に対する考えをもつ。
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の民主政治が抱える課題についての理解及びその解決策を選択・判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論的活動を通して再構成した考えを基に、単元全体の振り返りをする。

6 本時の展開（1／9）

(1) **ねらい** 「群馬県の投票率のグラフ」や「全国の高校生を対象とした意識調査」などの資料を読み取り、単元の課題を立てる活動を通して、日本の政治が抱える課題について追究しようとする意欲をもつことができる。

(2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート、ミニホワイトボード

(3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> めあて 資料を読み取り日本の政治について考え、単元の課題を設定しよう。 </div>	2分	◎学習活動を伝えることで、本時の位置付けが「単元の課題」の設定であることを確認する。
<p>2 提示された資料を読み取り、疑問や驚きをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに自分は選挙に行かないって書いたな。 ・若者の投票率が低いことには何か原因があるのかな。 	3分	◎課題意識をもちやすいように、4月に実施した選挙に関するアンケートの結果を提示する。 ◎日本の投票率のグラフを提示し、若者の投票率が低いことに着目するよう促す。 ◎自分の考えが持ちやすいように、各資料を縮小したものを配付し、疑問や驚きを持ったことを付箋紙に記入するよう伝える。 ◎資料から気になったことやキーワードだけを書いてよいことを伝える。
<p>3 疑問や驚きをもったことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ日本の投票率はこんなに低いのだろうか。 ・投票率って上がらないのかな。 	30分	◎グループで付箋紙に記入したものを持ちより、KJ方を用いて意見をまとめるよう伝える。 ◎まとめた意見をミニホワイトボードに記入するよう伝える。 ◎キーワードだけを伝えてもよいことを伝える。
<p>4 グループの考えを全体で共有し、単元の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率を上げるためにはどうしたらよいのだろう。 ・もう少し政治のことについて関心をもった方がいいのかな。 	10分	◎各グループから出された意見を黒板に掲示し、発表する。 ◎課題意識がもてるように、黒板に掲示された意見から疑問に思うことを生徒に投げ掛ける。 ◎生徒の言葉を使って単元の課題を設定する。
<p>5 本時のまとめ及び振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「単元の課題」国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。 </div>		
	5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ◇日本の政治が抱える課題に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 【関・意・態】 </div>

本時の展開（2／9）

(1) **ねらい** 多数決の在り方を考える活動を通して、民主主義の考え方が重要であることを考えることができる。

(2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート

(3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 日常の学校生活を振り返り、なぜ生徒会役員選挙や生徒総会が行われるのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に関わることは生徒自身が決めなければいけないから。 ・生徒会だけでなく全生徒の意見も必要だと思ふから。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が課題意識をもちやすいように、協力校の生徒会役員選挙や生徒集会の写真を提示する。 ○生徒会活動や学級活動が身近な政治の場であることに気付けるよう助言する。
<p>2 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 民主主義とはどのようなものなのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・民主主義という言葉は歴史で学習して知っているけど詳しく知らないな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習内容や生徒たちの考えや意見を基に、本時のめあてを生徒の言葉を使って設定する。
<p>3 教科書74ページの①～③の資料を基に、民主主義の考えが広まったことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランスでは国民が革命を起こしたよね。 ・アメリカでは独立戦争が起きたね。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○フランス、アメリカ、ドイツの例から、どのような結果になったかワークシートに記入するよう伝える。 ○歴史の学習と関連付けて考えるよう助言する。 ◎机間支援を行い、資料の中の人物に着目するよう促し、当時の情勢を想起できるよう助言する。
<p>4 多数決の在り方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数決は多くの人の意見を反映して決めることができるよね。 ・でも反対の意見を選んだ人は不満が残るんじゃないかな。 ・多数決以外にも方法はないのかな。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書75ページ「公民にチャレンジ」に取り組むよう伝える。 ○活動はグループで行うよう伝える。 ○考えをもつことができるように、学校生活で多数決が用いられる場面を想起するよう助言する。
<p>5 本時のまとめ及び振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まとめ 民主主義は、国民一人一人が政治の主役になるものであり、みんなで話し合い、決定するものである。</p> </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の言葉で考えられるように、個別に考える時間を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇民主主義の考え方が大切であることを、歴史的な経緯を踏まえて考え、適切に表現することができる。 (ワークシート・発言)【思・判・表】</p> </div>

本時の展開（3／9）

- (1) **ねらい** 日本の選挙制度について調べる活動を通して、そのあらましを理解する。
- (2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート

(3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 今年度行われた生徒会役員選挙の様子について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙に名前を書いて、投票箱に入れたな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が課題意識をもちやすいように、昨年度の生徒会役員選挙の写真を提示する。 ○今年度の生徒会役員選挙はどのような方法で行われたか問う。
<p>2 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 選挙はどのように行われ、どのような特徴があるのだろうか。</p> </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習内容や生徒たちの考えや意見を基に、本時のめあてを生徒の言葉を使って設定する。
<p>3 教科書76ページの三つの資料を比較し、気付いたことをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①の資料は見張られながら投票しているな。何でだろう。 ・②の資料は女の人が投票しているよ。 ・③の資料は、色々な世代の人が投票しているね。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○違いが意識できるよう、性別や投票の様子に着目するよう助言する。 ○かつては財産や性別によって選挙権が制限されていたことに気付けるように、歴史の学習を想起するよう助言する。 ○日本の選挙の4原則についても押さえる。 ◎机間支援の中で投票している人に着目するよう助言する。
<p>4 選挙シミュレーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・票を多く取っている人が当選しないのは不思議だな。 ・個人でなく、どの政党を支持するかという考えでも投票することができるんだね。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書77ページの「公民にチャレンジ」に取り組むよう伝える。 ○それぞれの選挙制度の課題について、個人で追究するよう伝える。 ○教科書77ページの資料⑥と関連させながら考えるように助言する。 ◎机間支援を行い、それぞれの選挙方法のよいところに気付けるようにする。
<p>5 本時のまとめ及び振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 日本の選挙は4原則の下で行い、国民の民意を反映できるものになっている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にはどのような方法が国民にとって一番よい方法なのだろう。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の言葉で考えられるように、個別に考える時間を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇選挙の意義と日本の選挙制度のあらましについて理解している。 (ワークシート・発言)【知・理】</p> </div>

本時の展開（４／９）

- (1) **ねらい** 選挙に関するグラフや表を読み取る活動を通して、日本の選挙の課題と政治参加の方法について考える。
- (2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート、ミニホワイトボード
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 教科書78ページの①②④⑤の資料を読み取り、課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人は選挙に興味がないのではないかな。 ・70歳以上の方は選挙に行くのが大変なのではないかな。 ・一票の格差って、平等選挙の原則に反していないのかな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○読み取れたことをワークシートに記入するよう伝える。 ○考えがもちやすいように、前時までの学習をを想起するよう助言する。 ○投票率や一票の格差に気付くことができるように、グラフの数字に着目するよう助言する。
<p>2 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>めあて 選挙の課題と政治参加の方法について考えよう。</p> </div>	2分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習内容や生徒たちの考えや意見を基に、本時のめあてを生徒の言葉を使って設定する。
<p>3 投票率を上げるにはどのようにしたらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のために投票日には市内を循環する無料バスを出したらどうか。 ・若者の選挙離れを防ぐために、選挙に来た人に何か特典を付けたらどうか。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書78ページの資料を基に、どのようにしたら選挙の投票率を上げることができるのかグループで考え、ミニホワイトボードに記入することを伝える。 ○自分の意見をもってグループ活動に参加できるように、個別に考える時間を設定する。 ◎机間支援の中で、導入で記入したワークシートを振り返りよう助言する。
<p>4 政治参加の方法について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がよいと思った人に頑張ってもらうには、選挙で投票しないとイケないと思うよ。 ・今はインターネットが普及しているから、そこから政治に関する情報を集めることもいいね。 	18分	<ul style="list-style-type: none"> ○資料⑥の中で特に重要だと思うものをグループで三つ挙げ、その理由まで考えることを伝える。 ○今の自分たちにはどのような政治参加の方法があるか問う。 ○政治について知ろうとすることも政治参加の一つであることを伝える。
<p>5 本時のまとめ及び振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>まとめ 選挙には棄権や一票の格差などの課題があり、大衆運動への参加や行政機関への請願・陳情、インターネットでの情報収集などで政治参加することが大切である。</p> </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の言葉で考えられるように、個別に考える時間を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>◇選挙に関する課題について、さまざまな視点から多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 (ワークシート・発言)【思・判・表】</p> </div>

本時の展開（5／9）

(1) **ねらい** 様々な政党の政策を比べる活動を通して、政党政治には国民の意見が反映されていることに気づき、国民の政治参加が民主政治において重要であることを理解する。

(2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート、ミニホワイトボード

(3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 日本の政党について確認し、各政党の公約の中からよいと思うものを三つ選び、その理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自民党は知ってる。 ・立憲民主党は最近できた政党だよ、ね。 ・〇〇党の学校給食の無償化はいいね。 ・△△党の待機児童ゼロの推進もいいね。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書80ページの資料を基に考えることを伝える。 ○政権公約(マニフェスト)について補足説明をする。 ○政党名や党首などについては、最新の状況を補足説明する。
<p>2 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 政党は民主政治においてどのような役割を果たしているのだろうか。</p> </div>	3分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習内容や生徒たちの考えや意見を基に、本時のめあてを生徒の言葉を使って設定する。
<p>3 教科書81ページの資料③を基に、政党がより多く票を取るためにはどうしたらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンミーティングを開いてみてはどうか。 ・自分の地域で有権者に考えを伝えていく機会をもつのはどうか。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで活動することを伝える。 ○自分の意見をもってグループ活動に参加できるように、個別に考える時間を設定する。 ○考えをもちやすいように、各政党の政権公約のパンフレットや新聞広告などを提示する。 ◎自分の推している人物に政治を行ってほしい場合にはどうすればよいか助言する。
<p>4 教科書81ページの「公民にアクセス」を基に、政治のあるべき姿について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の税金は国民のために有効に使ってくれる政治が理想だな。 	12分	<ul style="list-style-type: none"> ○考えをもちやすいように、政治献金についても資料を提示しながら補足説明する。 ○マイナス面にも目を向けられるように、必要に応じて汚職事件などの新聞記事も活用する。 ◎よりよい日本になるためには政治家にはどのようなことを行ってほしいか助言する。
<p>5 本時のまとめ及び振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 政党は、国民の意見を政治に反映させたり、政治の動きを国民に伝えたりする役割を果たさなければならない。</p> </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の言葉で考えられるように、個別に考える時間を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇政党と国民の関係を正しく読み取り、政党の役割について、具体的な事例に基づいて理解している。 (ワークシート・発言)【知・理】</p> </div>

本時の展開（6／9）

(1) **ねらい** 複数の新聞記事を読み比べる活動を通して、世論形成におけるマスメディアの役割を理解するとともに、公正な世論形成のためにマスメディアや国民一人一人はどう在るべきか考える。

(2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート、ミニホワイトボード

(3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 新聞記事を提示し、気付いたことを発表する。 ・同じ出来事について取り上げている。 ・同じ出来事でも内容が違っている。	7分	◎課題意識をもちやすいように、各社が同日に同じ事柄を取り上げている最近の新聞記事の一面を使う。
2 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> めあて 国民はマスメディアの情報とどのように接していけばよいのだろうか。 </div>	3分	◎前時までの学習内容や生徒たちの考えや意見を基に、本時のめあてを生徒の言葉を使って設定する。
3 マスメディアが世論に与える影響について考える。 ・マスメディアはみんなの意見を知るのに、重要な役割を果たしているんだね。	10分	◎人々はマスメディアの情報を参考にして意見をまとめていることに気付けるように、教科書82ページの②の資料に着目するよう助言する。
4 教科書83ページの公民にチャレンジを基に、メディアリテラシーについて考える。 ・A社の新聞は原発再稼働について慎重な立場の記事が書かれているね。 ・同じ内容なのに、新聞社によって記事の内容が違うのはどうしてだろう。	25分	◎グループで活動することを伝える。 ◎教科書82ページの資料①も参考にするよう助言する。 ◎情報をそのまま信用せず、自分自身で考え判断することが重要であることも伝える。 ◎自分自身も情報の発信者になることに触れ、その際の注意点について補足説明する。 ◎机間支援の中で新聞記事を音読し、内容をつかめるようにする。
5 本時のまとめ及び振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> まとめ 国民は、情報をそのまま信用するのではなく、さまざまな角度から批判的に読み取り自分自身で判断する必要がある。 </div> ・今まではニュースの報道はそのまま信じていたけれど、これからは他のニュースとも比べてみよう。	5分	◎自分の言葉で考えられるように、個別に考える時間を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ◇新聞記事の構成や内容を比較し、気付いたことや考えたことを適切にまとめ、表現している。 (ワークシート・発言)【思・判・表】 </div>

本時の展開（7／9）

(1) **ねらい** 今までの学びを振り返り、再提示された資料から課題を自分との関わりとして捉え直し、新たな課題を立てる活動を通して、政治参加していこうとする意欲をもつ。

(2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート

(3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> めあて 今までの学習を振り返り、単元の課題をまとめよう。 </div>	2分	<p>○これまでの学習を想起させることで、本時の方向付けをする。</p>
<p>2 思考ツールを使い、単元のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙区によって一票の重みが違うのは、人々の意見が正しく反映されていないのではないかな。 ・政党はきちんと政治の動きを国民に説明しているのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> まとめ 若者の多くが積極的に政治に参加していきなく、興味や関心をもっていない。 </div>	25分	<p>○今まで学習してきた社会的事象の要因や理由を関係付けるために、思考ツール（クラゲチャート）を活用することを伝える。</p> <p>○課題に対するまとめを考えられるように、単元の課題を振り返るよう助言する。</p> <p>○自分の言葉で考えられるように、個別に考える時間を設定する。</p> <p>○考えをペアになって交流することで、友達の考えに気付けるようにする。</p> <p>◎前時までのノートやワークシートを振り返ることで、考えのヒントとなるよう助言する。</p>
<p>3 単元の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このまま選挙に対する意識が低く、少子高齢化とともに投票率も低くなったら心配。 ・自分の政治について興味や関心がないので、これから大人になるにつれて考えていきたい。 	10分	<p>○単元の学習を振り返られるように、本単元で学んだキーワードや学習用語などを用いるよう助言する。</p> <p>○初めの予想や考えを振り返って、自分の言葉でまとめるよう伝える。</p>
<p>4 振り返りを基に、新たな課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にも何かできることがあるのではないかな。 ・本当にこのままでいいのかな。 	10分	<p>○新たに課題意識をもたせるために、つかむ過程で提示した資料を再提示する。</p> <p>○課題を自分との関わりとして捉えられるようにするために、再提示した資料を基に生徒の考えを揺さぶる発問をする。</p>
<p>5 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「新たな課題」 これからの自分は何ができるか提案しよう。 </div>	3分	<p>○自分の言葉で考えられるように、個別に考える時間を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇これからの日本の政治に関わらため何が大切か考え、その方法を意欲的に追究しようとする。 (ワークシート・ノート)【関・意・態】 </div>

本時の展開（8／9）

(1) **ねらい** 新たな課題を解決するために、資料や学びの中で習得してきた知識を比較・関連付けたり、多面的・多角的に考えたりしながら、課題に対する解決策をまとめる。

(2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート、ミニホワイトボード

(3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 新たな課題を解決するには、どうしたらよいか考え、まとめよう。</p> </div>	3分	<p>○これまでの学習を想起させることで、本時の方向付けをする。</p> <p>○新たな課題だけでなく、単元の課題も意識させる。</p>
<p>2 今までの学習を振り返り、新たな課題を解決する方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の投票率が低いことを資料から知ったね。 ・独裁政治にならないように、日本は議会制民主主義を導入していたね。 ・一票の格差問題で、法律の改正が進んでいるんだよね。 	27分	<p>○個人の考えをもてるように、教科書、資料集、ノートなどを参考にするよう助言する。</p> <p>○一つの資料だけでなく、他の資料と見比べながら考えをまとめるように伝える。</p> <p>○考えたことを文章だけでなく、図や表に表してもよいことを伝える。</p> <p>◎自分が気になることを、キーワードで書いてもよいことを伝える。</p>
<p>3 グループに分かれて討論的活動に向けての準備やルールの確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率を上げるための取り組みを考えた方がいいよ。自分たちの意見が政治に反映されないのは困るし。 ・もっと政治の動きに目を向けた方がいいんじゃないかな。 ・選挙に行くように家族に声を掛けよう。 	15分	<p>○討論活動に向けて、グループになって個人の意見を伝え合い、グループとしての意見をまとめるよう伝える。</p> <p>○発表の際に他のグループにも意見が分かりやすく伝えられるように、考えをミニホワイトボードに記入し、提示することを伝える。</p> <p>○質問される内容まで予想させることで、提案の根拠となるものを押さえることができるようにする。</p> <p>◎あらかじめ書いておいた自分の意見を伝えるようにする。</p>
<p>5 本時のまとめ及び振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの提案がしっかり伝わるといいな。 ・他の人たちはどんなことを考えているのだろう。 	5分	<p>○次時は討論的活動することを伝える。</p> <p>○本時の振り返りでの思いを、次時の導入に生かす。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◇既習の知識や様々な資料から情報を適切に選択し、その情報から日本の政治が抱える課題の解決について読み取ったり、文章や図にまとめたりすることができる。</p> <p>(ワークシート・ノート)【技】</p> </div>

本時の展開（9／9）

(1) **ねらい** 資料や習得した知識を根拠にした討論的活動を行うことで、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断することができる。

(2) **準備** 提示用資料、大型テレビ、ノートパソコン、ワークシート、ミニホワイトボード

(3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>「単元の課題」国民の政治参加にはどんな課題があるのだろうか。</p> <p>「新たな課題」これからの自分は何ができるか提案しよう。</p> <p>めあて 新たな課題について、討論的活動をしてまとめよう。</p>	5分	<p>○討論的活動を行うことを伝え、本時のめあてを提示する。</p> <p>○課題意識をもちやすいように、単元の課題と新たな課題の二つを提示する。</p>
<p>2 討論的活動を行う。</p> <p>【討論的活動のイメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事をしている人や投票日に都合が悪い人が投票しやすいように、期日前投票の制度があることを知らない人も多いんじゃないかな。 ・ 選挙に行ったら何も変わらないよ。だから行かなくてもいいんじゃない。 ・ 何も変わらないって言うけれど、選挙に行かない人が政治の文句を言うのはおかしいと思う。 ・ やっぱり選挙に行って自分たちの意見を伝えていくべきだと思う。 	30分	<p>○討論はグループで立てた行動計画を発表し合い、質疑応答していくことを伝える。</p> <p>○生徒が意見を言いやすいように、教師はファシリテーター役を務める。</p> <p>○既習事項である「対立と合意」「効率と公正」を柱とし、自分たちの提案が実現可能かどうかを視野に入れながら討論的活動をすることを伝える。</p> <p>○それぞれのグループの発表を聞き、自分たちのグループとの相違点を比較し、納得できたり、疑問に思ったりしたことなどをメモするよう伝える。</p> <p>○他のグループにも意見が伝わりやすいように、グループの意見を記入したミニホワイトボードを提示することを伝える。</p> <p>◎グループの中で意図的に役割を与えておくことで、活躍の場を与える。</p>
<p>3 本時のまとめ及び単元全体の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この国の未来は若者が決めていくべきだから、少しでも政治に興味をもって、みんなで考えていくべき。 ・ 今自分は選挙には行けないけれど、今のうちからテレビや新聞、インターネットを活用して政治に関する知識を高めていきたい。 	15分	<p>○自分の言葉で考えられるように、個別に考える時間を設定する。</p> <p>○単元の課題と新たな課題を取り入れた振り返りを書くことができるように、再度めあての確認をする。</p> <p>◎メモした意見を基に、自分なりの考えを記述できるように助言する。</p> <p>◇国民の政治参加における課題の解決に向けてよりよいものを選択・判断し、自分なりの考えをもつことができる。 (ワークシート・発言)【思・判・表】</p>

7 板書計画

(1 / 9)

現代の民主政治

めあて
資料を読み取り日本の政治について考え、単元の課題を設定しよう

群馬県の投票率
協力校のアンケート結果
同日同内容を扱った新聞記事

各資料を大型テレビに映し出し、同じ物を黒板にも掲示する。

グループの考え①
グループの考え②
グループの考え③
グループの考え④
グループの考え⑤
グループの考え⑥

<単元の課題>
国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。

(2 / 9)

民主主義と政治

<単元の課題>
国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。

めあて
民主主義とはどのようなものなのだろうか。

民主主義とは

【フランス】
国王中心
↓
フランス革命

【アメリカ】
国が分裂
↓
南北戦争

【ドイツ】
ヒトラーの独裁
↓
第二次世界大戦

⇒民主主義の確立：国民主権、個人の尊重

直接民主制…人々が直接話し合いに参加。
▲一度に大勢は集まりにくい。

間接民主制…代表者を選び、話し合って決める。
＝議会制民主主義

多数決の原理
…少数の意見も十分に聞いて、できるだけ尊重する。

少数意見の尊重

まとめ
○民主主義は、国民一人一人が政治の主役になるものであり、みんなで話し合い、決定するものである。

(3 / 9)

政治参加と選挙

<単元の課題>

国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。

めあて

選挙はどのように行われ、どのような特徴があるのだろうか。

生徒会役員
選挙の写真
①

生徒会役員
選挙の写真
②

選挙…国民が政治参加する方法の一つ。

選挙の4原則

※普通選挙、平等選挙、直接選挙、秘密選挙

日本の選挙制度

〈衆議院〉小選挙区制（定数 289）

比例代表制（全国11ブロック、定数 176）

→小選挙区比例代表並列制

〈参議院〉選挙区制（各区 1～6 人、定数 146）

比例代表制（全国単位、定数96）

小選挙区制	比例代表制
<ul style="list-style-type: none"> ・死票が多く出てしまう。 ・多数派がつくられやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少数意見も反映されやすい。 ・小党乱立になりやすい。

まとめ

○日本の選挙は4原則の下で行い、国民の民意を反映できるものになっている。

(4 / 9)

政治参加と選挙

<単元の課題>

国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。

めあて

選挙の課題と政治参加の方法について考えよう。

〈選挙の課題〉

投票率の低下、棄権の増加

若者の政治離れ

政治への無関心

一票の格差

→一票の価値に差が出て不平等。

投票率を上げるためには・・・

グループ
の考え①

グループ
の考え②

グループ
の考え③

グループ
の考え④

グループ
の考え⑤

グループ
の考え⑥

〈政治参加の方法〉

大衆運動への参加

議員や行政機関への請願・陳情

インターネットなどでの情報収集・意見交換

まとめ

○選挙には棄権や一票の格差などの課題があり、大衆運動への参加や行政機関への請願・陳情、インターネットでの情報収集などで政治参加することが大切である。

(5 / 9)

政党と政治

<単元の課題>

国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。

めあて

政党は民主政治においてどのような役割を果たしているのだろうか。

政党：政治の理想や政策について
同じ考えをもつ人々の団体。
→**政権公約**（マニフェスト）

政党政治：複数の政党が議席を争う政治。
与党＝内閣を組織、政権を担う（複数＝**連立政権**）
野党＝それ以外の政党（与党の監視や批判）

政党が政権公約を実現するためには・・・

グループ
の考え①

グループ
の考え②

グループ
の考え③

グループ
の考え④

グループ
の考え⑤

グループ
の考え⑥

まとめ

○政党は、国民の意見を政治に反映させたり、
政治の動きを国民に伝えたりする役割を果たさなければならない。

(6 / 9)

マスメディアと世論

<単元の課題>

国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。

めあて

国民はマスメディアの情報とどのように接していけばよいのだろうか。

マスメディア：世論の形成に大きな役割をもつ。
(例) 新聞、テレビ、雑誌など

世論：社会の問題について、
人々に共有されている意見。
※人々はメディアの情報を参考に、
意見をまとめている。

公民にチャレンジ

グループ
の考え①

グループ
の考え②

グループ
の考え③

グループ
の考え④

グループ
の考え⑤

グループ
の考え⑥

メディアリテラシー

→情報を批判的に読み取る力。

まとめ

○国民は、情報をそのまま信用するのではなく、
さまざまな角度から批判的に読み取り
自分自身で判断する必要がある。

(7 / 9)

<p><単元の課題> 国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。</p>	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none">・このまま選挙に対する意識が低く、少子高齢化とともに投票率も低くなったら心配。・自分の政治について興味や関心がないので、これから大人になるにつれて考えていきたい。		
<p>めあて 今までの学習を振り返り、単元の課題をまとめよう。</p>	<p>資料の再提示</p>	<p>資料の再提示</p>	<p>資料の再提示</p>
<p>まとめ ○若者の多くが積極的に政治に参加していきなく、興味や関心をもっていない。</p>	<p><新たな課題> これからの自分は何ができるか提案しよう。</p>		

(8 / 9)

※個人、グループで課題追究・解決の時間

(9 / 9)

<p><単元の課題> 国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか。</p>	<p>各グループの提案 ①</p>	<p>各グループの提案 ②</p>	<p>各グループの提案 ③</p>
<p><新たな課題> これからの自分は何ができるか提案しよう。</p>	<p>各グループの提案 ④</p>	<p>各グループの提案 ⑤</p>	<p>各グループの提案 ⑥</p>
<p>めあて 新たな課題について、討論的活動をしてまとめよう。</p>	<p>単元全体の振り返り (例)</p> <ul style="list-style-type: none">・この国の未来は若者が決めていくべきだから、少しでも政治に興味をもって、みんなで考えていくべき。・今自分は選挙には行けないけれど、今のうちからテレビや新聞、インターネットを活用して政治に関する知識を高めていきたい。		

1 節 現代の民主政治

資料から疑問や驚きをもったことを付せん紙に書き出してみよう。
(このスペースに付せん紙を貼る)



グループになって話し合ってみよう。

※話し合いの手順

- 1、書いた意見をグループで発表し、同じ内容の意見をまとめて貼る
- 2、まとめて貼ったものに見出しを付ける
- 3、見出しの中から一つ選んで、詳しい内容をホワイトボードに内容を書く

グループの意見

単元の課題

民主主義と政治

なぜ生徒会役員選挙や生徒総会が行われるのだろうか？

フランス	アメリカ	ドイツ
どんな政治？	どんな政治？	どんな政治？

 その結果？

--	--	--


() の考え方が広がる

公民にチャレンジ

①

②

③

政治参加と選挙 ①

①
②
③

小選挙区制	比例代表制

ドント式の計算方法 (定数9人の場合)

政党名	A党	B党	C党
得票数	120	90	60
÷ 1			
÷ 2			
÷ 3			
÷ 4			
÷ 5			
当選者数			

政治参加と選挙②

選挙の課題って何だろう？

（ ）とは…
選挙で、一人の議員が当選するために必要な得票数が選挙区によって異なること。
そのため、有権者の一票の価値に格差が生じることをいう。

一票の格差について
広島高裁で衆院選「無効」
の新聞記事

投票率を上げるためにはどうしたらよいのだろう？



グループの考え

教科書P79の資料6の中から特に重要だと思うものは？その理由は？
グループで考えてみよう。

政党と政治

教科書P80の各政党の政権公約はどれがいい？（三つ）その理由も答えよう。

①

②

③

マニフェスト（政権公約）

選挙の際に政党が掲げる政権公約。マニフェストはイギリスの選挙で最初に登場した。各政党が首相候補者、政権公約を示し、国民による選挙区における候補者の選択が首相や政権公約の選択と直結するというのが選挙の理想とされる。

日本では2003年11月の総選挙で各党がマニフェストを提示し、注目を集めた。それまでの選挙公約が総花的で、抽象的であったのに対して、マニフェストでは政策実施に必要な財源や、いつまでに実現するか期限を示すことが加わったと説明されている。

政党がより多く票をとるためにはどうしたらよいのだろうか？（グループで考えよう）

・

マスメディアと世論

下の二つの新聞から気付くことは？

平成29年9月8日
読売新聞一面
北海道地震における
死者、行方不明者数に
ついての記事

平成29年9月8日
朝日新聞一面
北海道地震における
死者、行方不明者数に
ついての記事

公民にチャレンジ

事実: エネルギー基本計画を閣議決定したこと。閣議決定の内容

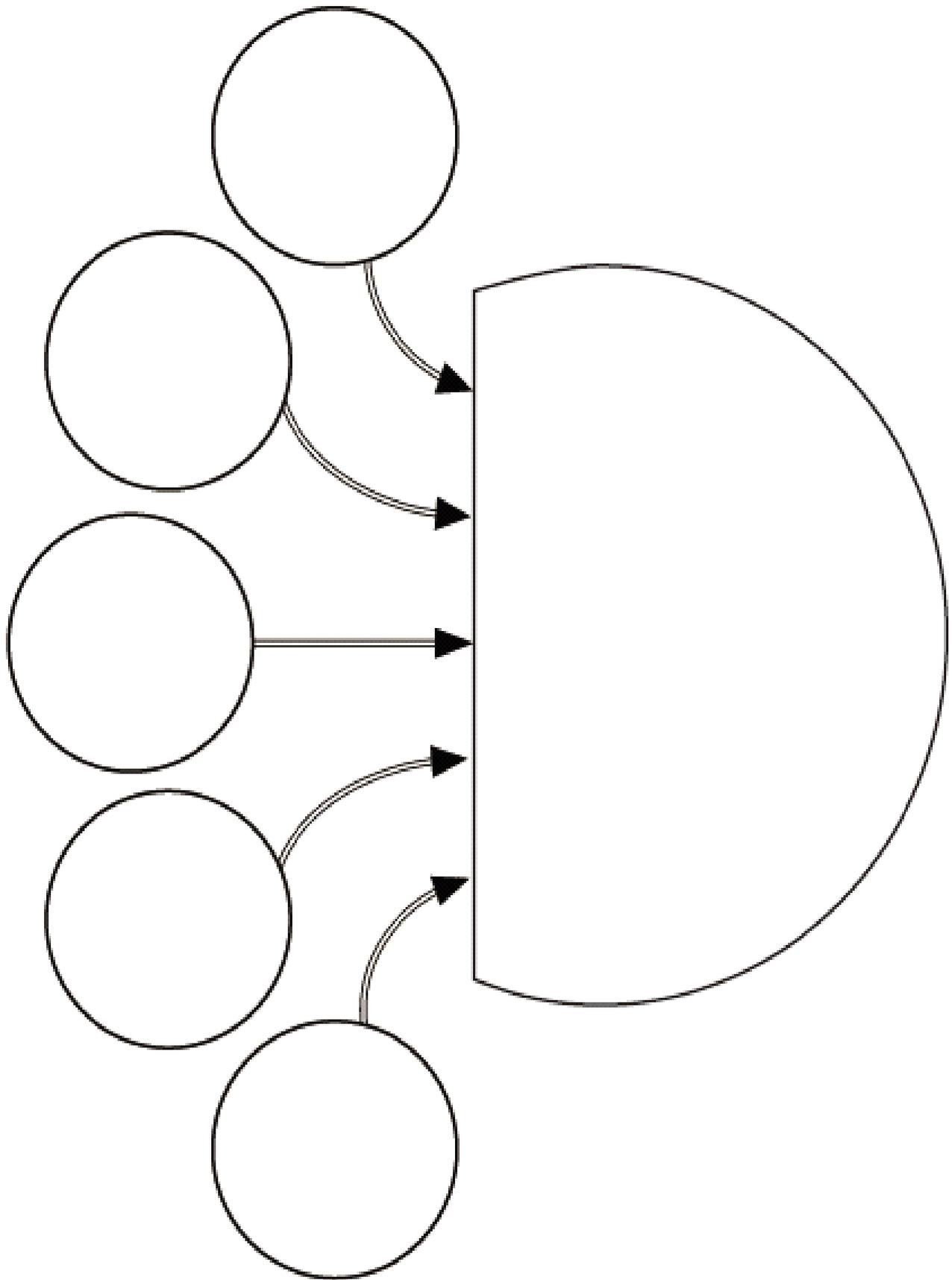
A社の意見・結論

B社の意見・結論



なぜこのような違いが生まれるのか？

1 節 現代の民主政治



1 節 現 代 の 民 主 主 義

例

「教科書」、「120ページ」の「〇〇のグラフ」では…

□□□□ということが分かるので、△△△△ではないかと考える。

「 」、 「 」 の 「 」 では…



これから自分は…

ワークシート（9／9）※上段二つの項目は、前時に記入しておく。

1 節 現代の民主政治

グループでの意見

付け足し、補足（質問に対する予想など）

メモ



単元全体の振り返り

「まとめる過程」において選択・判断が位置付く単元一覧（案）

地理的分野

教科書 A	教科書 B	選択・判断した姿（例）	選択・判断した姿（例）
<p>第 4 章 身近な地域の調査</p> <p>1 身近な地域の調査をしよう</p> <p>2 調査の方法を調べてみよう</p> <p>3 調査結果をまとめてみよう</p> <p>4 調査結果をまとめてみよう</p> <p>5 調査結果をまとめてみよう</p>	<p>第 4 章 身近な地域の調査</p> <p>1 身近な地域の調査をしよう</p> <p>2 身近な地域の調査をしよう</p> <p>3 身近な地域の調査をしよう</p> <p>4 身近な地域の調査をしよう</p> <p>5 身近な地域の調査をしよう</p> <p>6 身近な地域の調査をしよう</p>	<p>第 4 章</p> <p>・ 私たちの地域では過疎化が進み、若者人口が減少しているため、過疎化を止めるために、魅力あるまちづくりをポイントなど、地域のイベントなどに活用して発信していく。</p>	<p>第 4 章</p> <p>・ 私たちの地域では過疎化が進み、若者人口が減少しているため、過疎化を止めるために、魅力あるまちづくりをポイントなど、地域のイベントなどに活用して発信していく。</p>

歴史的分野

教科書 A	教科書 B	選択・判断した姿（例）	選択・判断した姿（例）
<p>第 6 部 現在に続く日本と世界</p> <p>第 1 章 戦後から立ち上る日本</p> <p>第 2 章 敗戦世界の多岐化と日本成長</p> <p>第 3 章 これからの日本と世界</p>	<p>第 7 章 現代の日本と世界</p> <p>1 戦後新たな時代の日本と世界</p> <p>2 戦後新たな時代の日本と世界</p>	<p>第 3 章</p> <p>・ グローバル化が急速に進む現代、平和で公正な社会を築いていくため、誰に対しても差別や偏見なく接していきたい。</p>	<p>第 2 節</p> <p>・ グローバル化が急速に進む現代、平和で公正な社会を築いていくため、誰に対しても差別や偏見なく接していきたい。</p>

公民的分野

教科書 A	選択・判断した姿 (例)	教科書 B	選択・判断した姿 (例)
<p>第 1 部 私たちと現代社会</p> <p>第 1 章 私たちの生きる現代社会について考える</p> <p>1 私たちの現代社会をどう見よう</p> <p>2 私たちの高年齢化が進む現代社会</p> <p>3 少子高齢化が進む現代社会</p> <p>4 グループ化が進む現代社会</p> <p>第 2 章 私たちの生活と文化について考えよう</p> <p>1 生活に息づく文化</p> <p>2 日本の伝統・文化</p> <p>3 文化の継承と創造</p> <p>第 3 章 私たちの生きる現代社会の見方・考えよう</p> <p>1 家族の生きかた</p> <p>2 地域のかたち</p> <p>3 対立と共生</p> <p>4 き</p>	<p>第 1 章 世界中のコミュニケーションの発展とインターネットの普及</p> <p>第 1 節 コミュニケーションの発展</p> <p>1 インターネットの普及</p> <p>2 情報化の進展</p> <p>3 情報化の進展と生活</p> <p>第 2 章 私たちの生活と文化について考えよう</p> <p>第 1 節 生活に息づく文化</p> <p>1 日本の伝統・文化</p> <p>2 文化の継承と創造</p> <p>第 3 章 私たちの生きる現代社会の見方・考えよう</p> <p>1 家族の生きかた</p> <p>2 地域のかたち</p> <p>3 対立と共生</p> <p>4 き</p>	<p>第 1 章 現代社会と私たちの生活</p> <p>第 1 節 現代社会の特色と私たちの生活</p> <p>1 現代社会の特色</p> <p>2 現代社会の発展</p> <p>3 現代社会の課題</p> <p>4 グループ化が進む現代社会</p> <p>第 2 節 私たちの生活と文化</p> <p>1 生活に息づく文化</p> <p>2 日本の伝統・文化</p> <p>3 文化の継承と創造</p> <p>第 3 節 私たちの生きる現代社会の見方・考えよう</p> <p>1 家族の生きかた</p> <p>2 地域のかたち</p> <p>3 対立と共生</p> <p>4 き</p>	<p>2 節 グループ化が進む現代社会の特色と私たちの生活</p> <p>1 現代社会の特色</p> <p>2 現代社会の発展</p> <p>3 現代社会の課題</p> <p>4 グループ化が進む現代社会</p>
<p>第 2 部 私たちと民主政治</p> <p>第 1 章 私たちの民主主義</p> <p>1 私たちの民主主義</p> <p>2 私たちの民主主義</p> <p>第 2 章 私たちの民主政治</p> <p>1 私たちの民主主義</p> <p>2 私たちの民主主義</p> <p>3 私たちの民主主義</p> <p>4 私たちの民主主義</p> <p>5 私たちの民主主義</p> <p>6 私たちの民主主義</p> <p>7 私たちの民主主義</p> <p>8 私たちの民主主義</p> <p>9 私たちの民主主義</p> <p>10 私たちの民主主義</p>	<p>第 2 章 現代社会と私たちの生活</p> <p>第 1 節 現代社会の特色と私たちの生活</p> <p>1 現代社会の特色</p> <p>2 現代社会の発展</p> <p>3 現代社会の課題</p> <p>4 グループ化が進む現代社会</p> <p>第 2 節 私たちの生活と文化</p> <p>1 生活に息づく文化</p> <p>2 日本の伝統・文化</p> <p>3 文化の継承と創造</p> <p>第 3 節 私たちの生きる現代社会の見方・考えよう</p> <p>1 家族の生きかた</p> <p>2 地域のかたち</p> <p>3 対立と共生</p> <p>4 き</p>	<p>第 2 章 個人の人権と日本国憲法</p> <p>第 1 節 個人の人権</p> <p>1 個人の人権</p> <p>2 個人の人権</p> <p>3 個人の人権</p> <p>4 個人の人権</p> <p>第 2 節 日本国憲法</p> <p>1 日本国憲法</p> <p>2 日本国憲法</p> <p>3 日本国憲法</p> <p>4 日本国憲法</p> <p>第 3 節 私たちの民主政治</p> <p>1 私たちの民主主義</p> <p>2 私たちの民主主義</p> <p>3 私たちの民主主義</p> <p>4 私たちの民主主義</p> <p>5 私たちの民主主義</p> <p>6 私たちの民主主義</p> <p>7 私たちの民主主義</p> <p>8 私たちの民主主義</p> <p>9 私たちの民主主義</p> <p>10 私たちの民主主義</p>	<p>1 節 戦争と平和</p> <p>1 戦争と平和</p> <p>2 戦争と平和</p> <p>3 戦争と平和</p> <p>4 戦争と平和</p>

<p>今の生活がこれからは、 も確保されよう、 政治の動きにも目を 向けていきたい。</p>	<p>① 権 ② 権 ① 学 ② 展 ① 人 ② 展 ① 業 ② 展 ① 産 ② 展 ① 情 ② 展 ① 報 ② 展 ① 化 ② 展 ① 社 ② 展 ① 会 ② 展 ① と ② と ① 人 ② 人 ① 権 ② 権</p>	<p>治に関する知識を高 めていきたい。</p> <p>第3章 政治を考えよう 1 国の現実 2 市民の権利 3 国民の権利 4 世論の役割 5 選挙の役割 6 国会の役割 7 内閣の役割 8 行政の役割 9 私生活 10 個人 11 三権分立</p> <p>第4章 住民として地方自治について考えよう 1 地方自治の現状 2 地方公共団体の役割 3 地方財政の現状 4 地方財源の確保 5 私生活と政治参加</p>	<p>1 節 今自分では選挙に行く ことではできなけれど、 今このうちから、 や新聞、インターネット、 政治に関する知識を高 めていきたい。</p>	<p>第3章 現代の民主政治と社会</p> <p>1 節 政治 1 政治 2 選挙 3 ア 4 世論</p> <p>2 節 政治 1 政治 2 選挙 3 政治 4 政治 5 政治 6 政治 7 政治 8 政治</p> <p>3 節 政治 1 政治 2 政治 3 政治 4 政治</p>	<p>第2章 政治に関する知識を高めていきたい。</p> <p>第3部 私たちと経済活動</p> <p>第1章 私たちの生活と経済について考えよう 1 生活と経済 2 生活と経済 3 生活と経済</p> <p>第2章 私たちの生活と経済について考えよう 1 生活と経済 2 生活と経済 3 生活と経済</p> <p>第3章 私たちの生活と経済について考えよう 1 生活と経済 2 生活と経済 3 生活と経済</p>
--	--	--	--	--	---

